

2012年度受託研究概要報告

沙弥島アートプロジェクト2013

研究メンバー

戸矢崎満雄	大学院芸術工学研究科教授
藤山哲朗	デザイン学部環境・建築デザイン准教授
佐久間華	大学院芸術工学研究科助手
藤本修三	先端芸術学部クラフト・美術学科教授
橋本英治	先端芸術学部映像表現学科教授
林健太郎	先端芸術学部映像表現学科実習助手
大畑幸恵	先端芸術学部クラフト・美術学科実習助手

委託者

株式会社アートフロントギャラリー

研究概要

〔瀬戸内国際芸術祭2013〕春会期（3月20日～4月21日）に参加した神戸芸術工科大学チームによる『沙弥島アートプロジェクト』は、「アート・建築」の力で「地域・住民」と共同し、「日本と世界」の人々をつなぐ活動と発信を行う。地域ゆかりの「三つの白」をテーマとしたアートプロジェクトで、香川県沙弥島全体をエリアとしながら、旧沙弥小中学校をメイン会場に複数のアート作品を設置する他、海水浴場に「海の家」の設計を行った。他に、会期前から会期中にかけて、複数のワークショップやアートイベントを行った。また、秋会期の最後には、旧沙弥小中学校を会場とした「あの感動を再び 写真・映像記録展」を開催した。本学教員と学生、地元住民やボランティアが共同して生み出す様々なシーンを演出し、会期中は大変多くの来場者を迎えることができた。

研究成果

神戸芸術工科大学『沙弥島アートプロジェクト』は、代表（総合ディレクター）として戸矢崎満雄、建築「海の家」設計と小中学校の整備を藤山哲朗、キュレーションとコーディネートを手を佐久間華が行っている。アーティストとして5名の教員（戸矢崎、藤本修三、佐久間、大畑幸恵、林健太郎）が参加し、瀬戸内研究のパネル展示とトークイベントで齊木崇人、他に本学大学院生を中心とする学生スタッフが随時参加し、準備にかかる作業および制作は、できる限り地域住民（ボランティア）と共同で行っている。プロジェクトではアート作品の他、ポスター、チラシ、ウォーキンマップ、リーフレットの制作、会期前後の「ワークショップ」、会期中の「トーク・ウォーキングイベント」、「喫茶」デザインと飲食の提供など、総合的デザインが行われる。また、秋に坂出市が主催した「写真・映像記録展」では、ワークショップによる地元高校生の作品や記録写真を構成展示したもの、沙弥島ゆかりの人々の語りを映像作品としたもので参加した。



写真 戸矢崎満雄「名も知らぬ遠き島より」